

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市議員

発行：2023年11月26日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



市民生活支える予算に!! 「予算要求書」提出



市民の願いが詰まった予算要求書を提出!!

市長は「このままでいけば500億円の赤字」と市民を脅しましたが、昨年度は77億円の黒字でした。しかし、昨年53億円もの市民負担を押し付け、今年はその上さらに7億6000万円の市民負担を押し付けています。黒字分は市民に還元すべきです。共産党市会議員団は、市民に負担を押し付けてきた「行財政改革計画」の撤回を求めます。敬老乗車証

の負担増をもとに戻すこと。子どもの医療費の支援拡充。小学校のような全員制の中学校給食を自校方式で。来年から始まる京都市の市民税独自減免制度の廃止は撤回すること等等、市民生活の切実な要求343項目を市長に届けました。実現の早道は来年2月の市長選挙で福山和人市長を実現することです。ご一緒に頑張りましょう！

「無差別殺りくは許されない」 ガザ攻撃中止、即時停戦を

共産党市会議員団は、昼休みを利用して、イスラエルによるガザへの攻撃による犠牲者が増え続けている現状に抗議する街頭宣伝を三条河原町で行いました。イスラエルは病院の地下にイスラム組織ハマスの拠点があるとして攻撃をしています。病院には未熟児を含む新生児が30数人が何の手当もできない状況に置かれているということです。パレスチナ自治区ガザ地区ではすでに死者が1万2000人を超えたと報道されています。そのうち5000人が子供だということです。私たちは傍観者ではいけないと訴えました。英語のプラカードには外国人観光客の反応がありました。イスラエルは今すぐ攻撃をやめるべきです。ハマスは停戦し人質をすぐに解放すべきです。平和憲法9条を持つ



日本が果たすべき役割は大きいのではないのでしょうか。岸田内閣はアメリカの顔色ばかりを見ているのではなく、双方が即時停戦の立場に立つべきです。

「つなぐ京都2024」事務所開き

11月18日に市長選挙に立候補を表明されている福山和人さんの事務所開きが行われました。堀川七条南西で、西本願寺の南側です。市民の声で市政を再生する拠点です。



議会報告会

これからの京都をどうつくるか

共産党議員団は、11月17日に議会報告会を開きました。西野議員からは「これからの京都をどうつくるか」「暮らしの破壊から「公共」の再生へ」のパンフの報告を、加藤議員が議会報告を行いました。市民の暮らしを犠牲にまち壊しを進める今の市政に未来はありません。希望の持てる京都市にして、若者世代が住みたくなる街にすることが求められています。それは障害者も高齢者も住みやすい街です。参加者からは多くの質問やご意見が出され、京都のまちの再生に力を合わせる立場での報告会になりました。

